

おだか

第30号
2016
平成28年2月4日(木)

南相馬市
小高小学校
学校だより

福島県学力調査の結果

11月10日に実施した、学力調査の結果がまとまりました。この調査は5年生を対象に国語科、算数科、理科の学力を調べます。同時に、生活・学習についての意識調査も行い「自己認識」や「社会性」などの度合いを明らかにするものです。本校は、14名が受験しました。以下に結果をお知らせします。



学力について ～3教科とも県の正答率を上回る～

学力の状況は、正答率を比較して考察します。正答率とは、出題された問題に正解した児童の割合のことです。今年、福島県独自の問題を使って行われましたので、県の正答率や目標値（問題に対して期待される正答率）と比較して考えます。

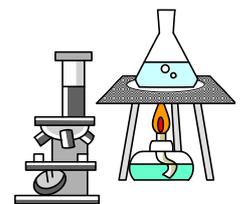
全体的に見ると、国語科、算数科、理科の3つの教科とも県正答率や目標値を上回る結果でした。教科別に見ると算数科が特に上回っており、次に国語科、理科の順になります。

算数科は、どの領域も県平均以上の正答率でした。特に「図形」「量と測定」の領域のポイントが高くなっています。一方、「知識（を見る問題）」と「活用（の力を見る問題）」では、「知識」の正答率が県と比較して約10ポイント高いのに比べ、「活用」では差が5ポイントに縮まっています。「線分図の意味を理解し、言葉で表す（説明すること）」や「切り上げて概数で表したとき、もとの数との差が一番大きくなる数を指摘する」などの問題が全体に比較し、やや落ちています。

国語科も、どの領域も県平均以上の正答率でした。特に「話すこと・聞くこと」の領域の正答率が高く、「読むこと」の領域はやや高いという結果でした。

設問ごとにくわしく見ると、「話すこと・聞くこと」では、「情報を読み取り、組み組みの結果と話し合いの内容をふまえた行動について考える」ことの正答率が特に高かったようです。「読む」では「文章の要点に注意して読み取ること」「与えられた資料を読み取りメモの取り方の工夫について理解すること」の正答率は低いようです。

理科も、どの領域も県平均以上の正答率でしたが、観点別に見ていくと「観察・実験の技能」が目標値と比較し8ポイントほど低くなっており、今後はこの点に注意して授業を改善することが必要だと考えられます。設問を見ても「けんび鏡の使い方」で「水の中で小さな生物がよく見られる水を選ぶ」「視界がぼやけているとき、原因を探し、調節ねじを動かしてピントをあわせること」がよくできなかったようです。「部屋の温まり方の指摘」「水槽の中のオスのメダカの数」「身の回りで結露が原因である現象の指摘」など、「自然現象への関心・意欲・態度」の領域の設問はよくできていました。



続きの、「生活・意識調査」については、次回のおたよりでお知らせします。

市政10周年記念式典で意見発表



意見発表する佐藤くん

1月30日（土）、南相馬市文化会館において南相馬市政10周年記念式典が開催されました。平成18年に旧小高町・旧鹿島町・旧原町市が合併し、南相馬市が誕生して10年となるのを記念した式典ですが、平成23年に起こった東日本大震災からの復興を課題とした式典ともなっています。

式典では、市と同じ年代の3名の児童と20歳代表の男女2名の意見発表があり、本校4年生の佐藤亨介君が小高区の児童代表として発表しました。

佐藤君は、本にかかわる仕事に興味を持ち、図書支援員さんのお話を聞いたりする中で、将来、小高区か原町区で好きな本を売る仕事をしたいと考えたことや、本好きな人をたくさん増やしたいという思いを伝えました。

堂々として、力強い発表でした。

第2回 学校保健委員会

ふわっとことばでつながろう

1月28日（木）、学校医の鈴木秀幸先生と保健師の丸山香織先生をお迎えして、第2回の学校保健委員会を行いました。

今回は「ふわっとことばでつながろう」をテーマに、7月から各学年や委員会活動で取り組んだ成果を、委員会や学年ごとに発表し、心の健康について考える場としました。

委員会ごとの発表では、図書委員会が、心がふわっとするお話の読み聞かせを行ったこと、体育委員会が「手つなぎ鬼」で楽しくつながるイベントを工夫したこと、放送委員会が学年ごとのインタビューを通して他の学年への関心を深める放送を考えたことなどが発表されました。ベルマーク委員会は、集計のやり方を下級生に丁寧に教えて活動したこと、保健委員会では、健康観察や手洗い場の掃除など毎日行う活動の他に、エプロンシアターの実施、歯の健康に関する読み聞かせ、換気を促す放送など実に様々な取り組みをして、健康への関心を高めるよう継続して活動してきたことを発表しました。

学年の取り組みでは、支援への感謝のお手紙や見学・体験学習でお世話になった方へのお礼の手紙を書いて感謝の気持ちを伝えていること、道徳の時間に「ふわっとことば」でつながる言葉や態度を話し合ったことが紹介されました。また、学級に「言われてうれしかったふわっと言葉」を掲示したり、あいさつを意識して取り組んだり、帰りの会で友だち同士がよさを見つけ認め合う場を設けたりしていることなどの発表もありました。

井堀PTA会長や厚生委員会の保護者の方からは、図書委員が本選びから自分たちでやっていること、体育委員がテーマに沿って手をつなぐという方法を考えたことなどについて、すてきな活動であることのご意見をいただきました。

鈴木先生と丸山先生からは「素晴らしい取り組みなのであいさつも含め地域でも実施していただきたい。」とのお話をいただきました。

参加者全員がふわっとつながる、時間となりました。



4年生の発表の様子



ご指導いただいた先生がた